

# 第52回

# 水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会（担当：海岸工学委員会，水工学委員会）  
 後援：公益社団法人 土木学会 東北支部（予定）  
 期日：2016年8月22日(月)～23日(火)の2日間  
 （A・Bコース並行開催）

場所：秋田大学 手形キャンパス 一般教育2号館  
 103講義室，203講義室（秋田市手形学園町1-1）  
 アクセスマップURL  
<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/access/index.html>



本研修会は土木学会のCPD（継続教育）プログラムとして認定されています。

日程および講義題目・講師 （注）講義題目には若干の変更がある場合があります

Aコース（河川・水文） [行事コードNo.236021]  
 《総合テーマ》：「地球環境変化時代の水防災」

Bコース（海岸・港湾） [行事コードNo.236022]  
 《総合テーマ》：「東日本大震災後の津波防災」

## ■ 8月22日（月）

## ■ 8月22日（月）

9:00～ 10:30	「仙台防災枠組2015-2030」の策定に向けた科学・技術分野の取り組みとその後の展開 小池俊雄（東京大学・教授）	9:00～ 10:30	仙台防災枠組を踏まえた国際的防災戦略－世界社会の安全構築への学の役割－ 今村文彦（東北大学・災害科学国際研究所長）
10:45～ 12:15	水防災意識社会再構築に向けた取り組みについて 畠山慎一（国交省・東北地方整備局・河川部長）	10:45～ 12:15	津波防災地域づくりと津波浸水想定の設定 諏訪義雄（国交省・国総研・室長）
13:15～ 14:45	2015年関東・東北豪雨災害における鬼怒川の堤防被災状況の把握とそのメカニズムの検討 二瓶泰雄（東京理科大学・教授）	13:15～ 14:45	広域災害の把握と評価 越村俊一（東北大学・教授）
15:00～ 16:30	降雪・積雪・融雪のモデリング 風間 聡（東北大学・教授）	15:00～ 16:30	津波を踏まえた災害に強い漁業地域づくりについて 影山智将（漁村総研・理事長）

## ■ 8月23日（火）

## ■ 8月23日（火）

9:00～ 10:30	流出予測，数時間先から数十年先まで 真野 明（東北大学・名誉教授）	9:00～ 10:30	高潮・津波対策の変遷 首藤伸夫（東北大学・名誉教授）
10:45～ 12:15	土砂災害を発生させる現象の実態と解析 竹林洋史（京都大学・准教授）	10:45～ 12:15	防護施設とまちづくり 有川太郎（中央大学・教授）
13:15～ 14:45	洪水と河道管理 泉 典洋（北海道大学・教授）	13:15～ 14:45	津波の河川遡上と防災 田中 仁（東北大学・教授）
15:00～ 16:30	水防施設と氾濫-2011年タイ大洪水および2015年関東・東北豪雨を例として- 小森大輔（東北大学・准教授）	15:00～ 16:30	建築物に作用する津波荷重 松富英夫（秋田大学・教授）

定員：Aコース150名，Bコース150名

受講料：1コースにつき，一般16,000円，学生・院生10,000円（いずれも講義集代を含む）

申込方法：土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>  
 もしくは、FAX（学会誌巻末に掲載されている「本部行事参加申込用紙」）をご利用下さい

申込締切日：2016年8月16日（火）【必着】

締め切り日以降は，原則として行事当日会場にて受付致しますが，定員に達している場合がありますので，事前に下記へお問合わせ下さい

問合せ先：土木学会 研究事業課 TEL:03-3355-3559(担当:松沼)

備考：会場の詳細，講義の変更等の最新情報に関しては，下記ホームページでご確認ください  
 水工学委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>  
 海岸工学委員会ホームページ <http://www.coastal.jp/ja/>